

全体像（何ができるの？どんなメリットがあるの？）

- この事業は**2026年2月28日まで（定員あり）**にお申込みいただければ、自社のCO2排出量の把握～具体的な削減方法～今後の経営に役立つ一歩進んだ情報やノウハウを**無料**で得ることができます。
- お申込みは本事業特設WEBサイトから簡易且つスムーズに実施することができます。（後頁でご案内）

どちらか選択可能（無料）
※事務局が相談に乗ります



HOP

自社のCO2排出量の見える化
～自社の現状が見える/分かる～

データ入力で排出量が自動算定&グラフ/チャートで見える化され詳細分析とレポートを入手可能。最新係数&国際基準対応でクラウドで一元管理されチャット/オンラインサポートあり。

専門家（カーボンプレジット取引推進ナビゲーター）による支援や助言は無料

STEP

CO2排出量削減方法の獲得
～どうしたら良いか?が分かる～

見える化した排出量をもとに、業界屈指の専門家チーム（カーボンプレジット取引推進ナビゲーター）が**具体的な削減方法や参考事例等**を自社のためにレクチャー。

業界屈指の実績をもつプロが、**blue green**
サステナビリティ経営を徹底サポート

社内の合意形成から調査実行、成果報告までワンストップで対応します



取締役社長
八林 公平 氏ほか

- ・元 環境省職員
- ・カーボンプレジット（J-VER）制度設計担当者

JUMP

補助金/CO2取引等活用の検討
～今後の企業経営に活かせる～

具体的な削減方法や参考事例等から一歩進んで、今後取り組むうえで**自社で活用可能な補助金の紹介やカーボンプレジット取引についての活用等**について「企業経営」の視点で業界屈指の専門家チーム（カーボンプレジット取引推進ナビゲーター）からアドバイス等を得ることが可能。
初めの一歩として「東京都カーボンプレジットマーケット（利用登録料・システム利用料無料）」への登録を実施。



申込は2月末
ツールや支援の活用は3月末まで！

ぜひ活用して欲しい方について（こんな状況ありませんか？）

- 本事業は「都内中小企業様における脱炭素経営の推進」がテーマですが、各社様によって状況は様々ですので前頁の3ステップをご準備しています。
- みなさんの企業の業種や業界、取引関係、ご自身の立場を踏まえて下記のような状況はありませんか？

①業種から年間で使う燃料・電気・ガスは季節によって変動あるけど
そういえば「どのくらい？」が確認したことがないなあ…

④自社としてできる節約や削減はこれまである程度はしてきたつもりだけど
そもそもウチってどのくらい実施可能なんだろう…

⑦ウチは本社の他に拠点も多くて燃料・電気・ガスなどの節約や削減は
かなり頑張ってきたけどさらに進んで全社的に何か
取り組めることはないかなあ…

②以前に本社や事業所のCO2排出量をエクセル使って算出してみたけど
とても手間がかかってその後は放置したままだなあ…

⑤下請け製造業のウチには関係ないと思ってたのに
最近取引先がCO2とか脱炭素とか言い始めているけど
何からどうしたら良いんだろ…

⑧今では大手メーカーに繋がる取引も割合が増えてきた中で
このまま取引を維持拡大するためにカーボンクレジット取引も
検討したいなあ…

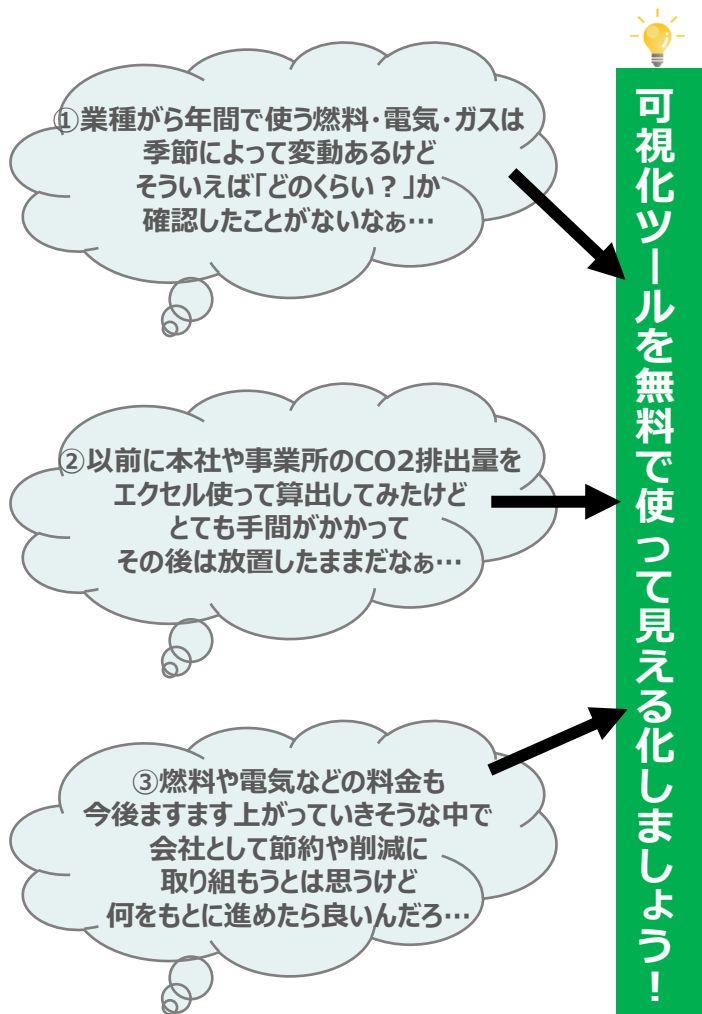
③燃料や電気などの料金も今後ますます上がっていきそうな中で
会社として節約や削減に取り組もうとは思いつけど
何をもとに進めたら良いんだろ…

⑥業種から営業や配送で使う社用車が多いからガソリン料金が
どんどん上がると本当に大変だ…
どんな削減方法が効果的なんだろう…

⑨ウチもグループ企業の一員になったけどあまり良く知らないサステナビリティなど
今後何か取り組む必要がありそうだなあ…

活用のオススメ【HOP】（算出ツールで自社排出量が見える化）

- 下記の状況の企業のみなさんには「CO2可視化ツールによる自社のCO2排出量の見える化」をオススメします。お申込みいただければ「無料」でツール利用可能です。
- 本事業では下記の「タンソチェック」が「ScopeX」のどちらかを選ぶことができます。



CO2可視化ツール ① タンソチェック



中堅・中小企業向けに提供されているCO2算定ツールとなり、簡単に入力を行うことができるような設計です。CO2算定のことに何の知識がなくても、十分取り扱うことができるITツールです。

タンソチェックの特徴

1. 中堅・中小企業向けに特化
再エネ電力のAI診断・シミュレーション、東京都環境局と開発した電気AI診断機能を備え、AIが複数の設備会社の太陽光発電・再エネ電力のシミュレーションを比較提供します。
2. 環境省や国際算出基準GHGプロトコルの水準に準拠
環境省で公表されている国内の係数を利用するだけでなく、国際算出基準のGHGプロトコルに準拠した排出計算を実装し、TCFDやSBT認定取得にも準拠したCO2算定報告が可能です。
3. 不明点は全てチャットで相談が可能
URLを送るだけで拠点・他社とデータ連携「連携管理機能」により、URL送付だけで各拠点/各社とのデータ連携が一瞬で可能です。

CO2可視化ツール ② ScopeX



中小メーカーの声から生まれた実務的方法で、CO2排出量算定から脱炭素経営までをワンストップで支援。CO2排出量の算定・見える化から、サプライチェーンを含む削減策のご提案までを一気通貫でサポートします。

ScopeXの特徴

1. 算定作業の省力化
排出係数の自動更新に対応。毎年複数回更新される排出係数をシステムが自動で反映でき、任意係数や一次データの入力にも対応しています。
2. すぐに相談ができる
メール、電話、オンラインMTGで相談可能。温対法・省エネ法の集計フォーマットに対応、規制報告向け（温対法・省エネ法）に合わせたレポート/集計機能を搭載
3. レポート作成
算定結果はグラフと表で分かりやすく出力できます。社内共有はもちろん外部への開示にも活用可能。

活用のオススメ【HOP】（算出ツールで自社排出量が見える化）

- CO2可視化ツール「タンソチェック」が「ScopeX」を利用した際のアウトプットイメージは下記の通りです。
- 直感的で分かりやすいインターフェース、必要項目の見える化、ガイドサポート付はどちらも共通しています。

CO2可視化ツール ① タンソチェック



CO2可視化ツール ② ScopeX



どちらか迷っているあなたへ
～下記に該当する場合はタンソチェックがオススメ～

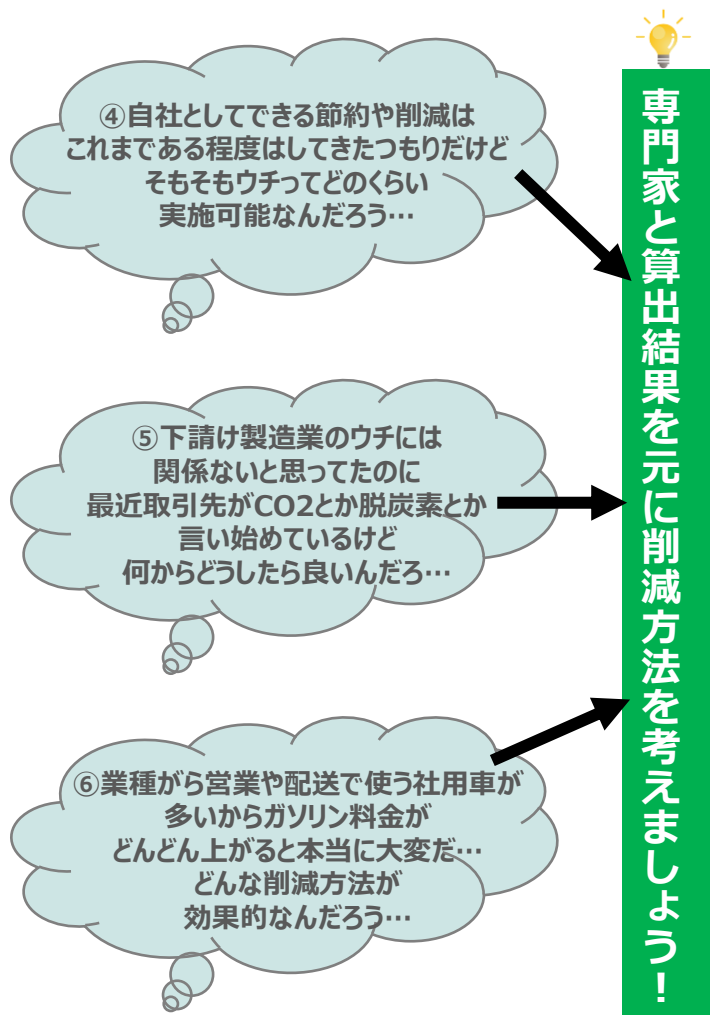
- 拠点や工場が多い（100拠点まで登録可能）
- グループ企業と連結したい
- 会計資料と同じ名前で登録したい
- 画像をアップロードしたい
- マーケット係数・ロケーション係数を別に確認したい

どちらか迷っているあなたへ
～下記に該当する場合はScopeXがオススメ～

- 拠点数が多くない
- 正しい係数名で登録したい
- 温対法・省エネ法のレポートニングを確認したい
- ログイン時に多要素認証の設定をしたい
- 売上高/生産量当たりのCO2排出量/増減率を知りたい

活用のオススメ【STEP】（専門家の削減方法や削減目標の助言）

- 下記の状況の企業のみなさんには「CO2可視化ツールによる自社のCO2排出量の見える化」と合わせて、その結果を元にした「**専門家による削減方法や削減目標等の助言（無料）**」を得ることをオススメします。
- 専門家（カーボンクレジット取引推進ナビゲーター）は下記をご参照ください。



株式会社エスプールブルドットグリーン（BDG）
本事業専門家（カーボンクレジット取引推進ナビゲーター）

受託社数 700社以上	金融庁より 優良事例として 選定	CDP支援件数 900件以上
----------------	------------------------	-------------------



取締役社長 **八林 公平氏**

- 元環境省職員（カーボンクレジット（J-VER）制度設計 担当者）
- 一般社団法人カーボンオフセット協会 事務局長
- 中央省庁出身で国内外の政策に精通。政府でカーボンクレジット事業を立ち上げる時の担当として制度設計に関与

主な支援先（一部抜粋）

活用のオススメ【JUMP】（専門家の補助金やカーボン取引等の助言）

- 下記の状況の企業のみなさんには「**専門家による自社で活用可能な補助金の紹介やカーボンクレジット取引についての活用等の助言**」を得ることをオススメします。（無料）
- さらに、**都カーボンクレジットマーケット登録（利用登録料・システム利用料無料）**をオススメします。

⑦ウチは本社の他に拠点も多くて燃料・電気・ガスなどの節約や削減はかなり頑張ってきたけどさらに進んで全社的に何か取り組めることはないかなあ…

⑧今では大手メーカーに繋がる取引も割合が増えてきた中でこのまま取引を維持拡大するためにカーボンクレジット取引も検討したいなあ…

⑨ウチもグループ企業の一員になったけどあまり良く知らないサステナビリティなど今後何か取り組む必要がありそうだなあ…



専門家から一歩進んだ有効策の助言を得ましょう！



株式会社エスプールブルドットグリーン（BDG）
本事業専門家（カーボンクレジット取引推進ナビゲーター）



取締役社長

八林 公平氏

BDG社HPより
一部転載→



マブチモーター株式会社

「手探り状態」から「先駆的な取り組み」へ、共に歩んだ親切あふれるパートナー

GHG排出量算定

#製造



エクシオグループ株式会社

サステナ初心者が頼れる専門家と歩んだ“ゼロ”からの軌跡

CDP

TNFD

#建設 #情報・通信

東京都のカーボンクレジットマーケットの概要



利用登録料・システム利用料無料!

複雑な手続きなしで手軽に国内外のカーボンクレジット※の購入が可能！
東京都が提供する信頼性の高いカーボンクレジットの取引システムです。

※カーボンクレジットとは、省エネルギー設備の導入や森林管理の取組などによるCO₂の排出削減量や吸収量を、第三者機関による検証を経て、企業等の中で取引できるよう認証したものです。

お申込みのご案内（本事業特設WEBサイトについて）

カーボンクレジットマーケット普及啓発事業 特設WEBサイト

<https://try.offset.now.metro.tokyo.lg.jp/>

東京都
東京都カーボンクレジットマーケット普及啓発事業

03-4550-0931
(平日10:00~17:00/土日祝並びに年末年始除く)
ade.jp.carbon-market@jp.adecco.com

小 中 大
文字サイズ



本事業について

東京都では、2050年にCO₂実質ゼロに貢献する「ゼロエミッション東京」の実現に向けて、都内の中小企業等の脱炭素化に向けた様々な取組を進めています。中小企業等が脱炭素化を進めるに当たっては、省エネ設備の導入等による自社の温室効果ガスの排出量を削減する取組に加え、カーボンクレジット(※)の活用も効果的です。そこで、東京都では、2025年3月、国内外のカーボンクレジットを容易に取引できる独自のシステム「東京都カーボンクレジットマーケット」の運用を開始しました。

本事業では、都内中小企業等を対象に、CO₂排出量の可視化や、カーボンクレジット取引推進ナビゲーターによる削減目標の策定等の支援を提供し、カーボンクレジットの活用を含む脱炭素経営の普及を目指します。

※カーボンクレジットとは、省エネルギー設備の導入や森林管理の取組などによるCO₂の排出削減量や吸収量を、第三者機関による検証等を経て、企業等の間で取引できるよう認証したものです。

本資料は本事業にご興味のある
中小企業様向けダイジェストのため
より詳細はぜひこちらのサイトを
ご覧ください！

こちらのサイトをスクロールし

まずは算定してみる



事業申込はこちら



をクリックするとお申込みフォームへ
記入しお申込み可能です！



参考資料

■ 専門家（カーボンクレジット取引推進ナビゲーター）のBDG社提供の参考資料を抜粋して掲載します。

政策によるリスクも存在

排出量取引制度（GX-ETS）とは

政府が対象企業に対し、一定の削減目標を課し（排出枠を割り当て）、**目標以上に削減を達成した企業と、目標達成できずに排出した企業が、排出枠を取引。**国全体としてはGHG排出量の総量を削減することが容易になるが、**企業としては課せられた目標値の達成が困難な場合に追加的な費用を要し減益リスクが発生したり、社名公表等のレピュテーションリスクが発生しうる。**

サプライチェーン排出量（Scope1,2,3排出量）とは

- サプライチェーン排出量とは、事業者自らの排出だけでなく、事業活動に関係するあらゆる排出を合計した排出量を指す。つまり、原材料調達・製造・物流・販売・廃棄など、一連の流れ全体から発生する温室効果ガス排出量のこと
- サプライチェーン排出量 = Scope1排出量 + Scope2排出量 + Scope3排出量

Scope1: 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼、工業プロセス）

Scope2: 他者から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出

Scope3: Scope1, 2以外の間接排出（算定事業者の活動に関連する他社の排出）

市場とともにビジネスチャンスが拡大

持続可能な社会の創造はもはや寄付的な貢献活動ではなく巨大市場を狙うビジネスである

カーボンクレジットとカーボン・オフセット

カーボン・オフセットは、あらゆる主体が社会全体の温室効果ガス削減に貢献できる有効な仕組み。
 自社では削減しきれないCO2量に対し、他の誰かが削減等して認証を受けたカーボン・クレジットを購入する。

参考資料

- 関連する支援策として、東京都カーボンプレジットマーケットで購入したクレジットを用いてGHG排出量をオフセットし、その取り組みを発信してブランディングに取り組む企業に対して、**プロモーション経費などの費用を一部助成する事業があります。**

■ カーボンプレジット活用促進事業

https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/creditoffset_pr

対象事業者

都内に事務所または事業所を有する企業（中小企業、学校法人、医療法人など）

助成内容

助成対象者	助成対象経費	助成率	助成上限額
中小企業	<ul style="list-style-type: none">・ GHG排出量の算定に要する経費・ カーボンプレジットのオフセットによるブランディング計画策定及び当該ブランディング計画に基づく各プロモーションの企画策定に要するコンサルティング経費・ プロモーション実施に要する経費	3分の2	200万円
中小企業以外	プロモーション実施に要する経費	2分の1	100万円

交付申請期間

令和7年4月23日（水） ～ 令和7年12月26日（金）→**令和8年3月31日（火）**までに延長されました。

お問い合わせ先と注意点

- この資料でご紹介した本事業についてのご質問やお問い合わせは下記からお願いいたします。
- 2026年3月末事業終了後、前頁記載の可視化ツール利用料等は別途発生しますのでご了承ください。

お問い合わせ先（運営事務局 アデコ(株)内）

「東京都カーボンクレジットマーケット普及啓発事業」運営事務局
03-4550-0931

（平日10:00～17:00/土日祝並びに年末年始を除く）

メールアドレス ade.jp.carbon-market@jp.adecco.com

2026年4月以降に引き続きCO2可視化ツール利用継続をご希望の方へ



- ▼ Scope1、2、3
月額5000円で継続可能。
初期費用は不要
拠点数：100まで登録可能



- ▼ Scope1,2
初期費用（代行費用）：20万円 利用料：月5000円
- ▼ Scope1,2,3
初期費用（代行費用）60～90万円
※データ量によるため応相談
利用料：月2万円 / 拠点、月5万円 / 3～10拠点
※11拠点以上は応相談
※但し、代行が不要であれば、初期費用なしの月額のみで継続可能。

FAQ

	質問	回答
1	本事業の対象を教えてください。	都内に主たる事業所を有する中小企業、学校法人、医療法人、社会福祉法人等になります。詳しくはHPより 募集要領 をご確認ください。
2	本事業では何を支援してくれますか。	本事業ではCO2可視化ツールの提供や専門家による削減目標の策定等の支援を提供し、カーボンクレジットの活用を含む脱炭素経営に向けた取組の第一歩を支援します。
3	既にCO2排出量の可視化は済んでいるので、専門家の支援だけ受けるのは可能ですか。	可能です。専門家からは算出結果をもとに、企業の状況に応じたアドバイスを受けられますのでぜひご活用ください。
4	本社は東京ですが、都外にある工場や支店の排出量の算出はできますか。	はい、都内に主たる事業所があれば問題ございません。また、ツール上で、拠点別に可視化することができます。
5	可視化ツールを無料で使える期間を教えてください。また、期間終了後、自動で有料に切り替わるのでしょうか。	事業期間である2026年3月31日まで無料でお使いいただけます。また、事業期間内に事務局より継続希望を確認します。継続希望と回答された場合にのみ有料に切り替わります。
6	可視化ツールは装置的なもの（取り付けるようなもの）ですか。	装置ではなく、電気やガスなどの使用量を入力することでCO2排出量を自動で計算してくれるクラウドの管理システムになります。
7	専門家（カーボンクレジット取引推進ナビゲーター）は何をしてくれますか。	算定結果や企業様の状況に応じた削減目標設定支援や補助金の紹介、カーボンクレジットを活用した対応の検討を支援します。なお支援は期間を通じて1回となります。
8	現在排出量の規制対象になっていませんが、本事業に参加するメリットは何ですか。	現在は排出量の多い事業者など一部事業者に対する規制ですが、取引先から排出量を求められるケースがあります。また、地球温暖化により規制が強化されていく可能性があり、今の段階から脱炭素経営を始めしていくことが、“選ばれる企業”になるうえでとても重要です。本事業はまさにこれから脱炭素経営に取り組む中小企業等を支援します。